

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
1 教育課程 学習指導	<p>①すべての生徒のわかりやすさに配慮した授業改善を行い、生徒一人ひとりに応じた進路等の目標実現に定める、社会に開かれたカリキュラムの実現を目指す。</p> <p>②各教科・科目において、積極的に探究的な学習に取り組む、「総合的な探究の時間」の充実を図り、積み重ねることで主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。</p>	<p>①生徒の希望進路の実現に向けて組織的な授業改善に取り組み、本校の特色ある教育課程を効果的に運用する。</p> <p>②「総合的な探究の時間」における学習活動を充実させ、自ら課題を発見し解決する能力の育成につなげる。また、インクルーシブ教育推進を踏まえた授業改善を一層推進し、ICTの効果的な活用に努める。</p>	<p>①教員相互の授業見学や研究授業の機会を増やし、全員が他の教員の授業を参観し、教科会での研究協議に資する。</p> <p>②「総合的な探究の時間」における学習活動を学年ごとに見直し、課題解決能力の育成につながる活動を実践する。</p> <p>②新たなICT教材の活用、ユニバーサルデザイン化、新しい評価の実践等の取組について授業の互見の機会を作る。</p>	<p>①授業見学・研究授業の機会を増やすことができたか。</p> <p>①職員全員が授業参観を行ったか。</p> <p>①教科会での研究協議を行ったか。</p> <p>②「総合的な探究の時間」に課題解決能力の育成を目指す学習活動を組み込めたか。</p> <p>②新たな取組の授業での実践について互見の機会を設定できたか。</p>						
2 生徒指導・ 支援	<p>①広く社会に貢献できる生活習慣を身に着けた人材の育成に向けて、丁寧な生徒指導を行う。</p> <p>②生徒が主体的に学校行事や部活動に取り組むよう支援し、すべての生徒が活躍できるようにする。</p>	<p>①生徒一人ひとりの課題やニーズに合わせた支援体制、外部機関との連携を含めた相談体制の充実を図る。生徒の基本的な生活習慣の確立に向けて丁寧な指導を行う。</p> <p>②特別活動等で、生徒が主体的に活動し達成感等が得られるよう支援し、課題解決能力の向上を図る。</p>	<p>①SC・SSWと連携しながら、教育相談連絡会等で支援策を検討する。ケースごとに必要とされる職員への情報共有を徹底し、個々の生徒に適切に対応する。</p> <p>①登下校指導や遅刻指導を通して、ルール・マナーを守る生活習慣を身に付けさせる</p> <p>②挨拶運動、体育祭、翔矢祭、スポーツ大会等の各行事において、生徒が主体的に、かつお互いに切磋琢磨できる場を増やし、活躍できるように支援する。</p>	<p>①授業担当、担任含め学年団、全職員がケースごとに支援策に応じた対応ができたか。</p> <p>①支援が、生徒の課題解決につながったか。</p> <p>①ルールやマナーを守る基本的な生活習慣が確立されたか。</p> <p>②生徒に企画運営させる場を設けることができたか。</p> <p>②生徒会行事を通して、達成感を得られた生徒が90%以上となったか。</p>						

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<p>①「ちょっと背伸びの進路実現」を目指した将来の自己実現に向けた指導を行う。</p> <p>②生徒の希望進路の実現のため、進路支援体制の充実を図り、きめ細かな進路支援を行う。</p>	<p>①3年間を見通したキャリア教育実践プログラムを構築し、生徒の個性や進路意識の段階に応じたキャリア教育を推進する。</p> <p>②説明会・面談等を含め、それぞれの進路活動における前後のつながりを考慮した組織的な進路支援体制の構築を図る。</p>	<p>①「総合的な探究の時間」の学習活動を見直し、3年間を見通したキャリア教育を実践する。到達度テストや進路希望調査により把握した生徒の状況を活かして指導を行う。</p> <p>②生徒一人ひとりが目指すべき進路目標に向かえるよう、説明会・面談等の実施時期、事前・事後指導を設定し、生徒の進路活動を促す。</p>	<p>①3年間を見通したキャリア教育を実践する「総合的な探究の時間」の年間計画の見直しができたか。</p> <p>①進路指導に到達度テストや進路希望調査を活用できたか。</p> <p>②説明会・面談等の時期及び事前・事後指導を工夫して効果的に実施できたか。</p>					
4	地域等との協働	<p>①地域の期待に応えながら、地域の担い手として成長できるような人材の育成を目指す。</p> <p>②部活動・生徒会活動や、美術科の活動を発信し、地域との協働を図るとともに学校の魅力を発信する。</p>	<p>①積極的に地域の活動に参加することで、地域との協働や地域貢献活動の充実を図る。</p> <p>②地域と共にある学校を目指し、部活動・生徒会活動や美術科の活動等、学校の魅力を発信する。</p>	<p>①地域町内会の夏祭りボランティア活動に参加する。地区センターでの行事へ部活動で参加する。</p> <p>②美術科の作品の近隣カフェでの展示、小学校との協働事業を実施する。</p> <p>②ホームページの学校紹介の内容を充実させ、タイムリーに、学校の魅力を地域に発信する。</p>	<p>①地域の期待に応え、地域の活動に生徒が参加できたか。</p> <p>②地域と協働した取組を実践できたか。</p> <p>②ホームページの更新回数を昨年度より増やし、生徒の活動状況、学校の魅力など発信できたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①「共に学び共に育つ」共生社会の実現を目指す。</p> <p>②安全・安心して信頼できる学校づくりを進める。</p>	<p>①全職員の共通理解のもと、状況に応じて人権に配慮した生徒への対応を適切に行う。</p> <p>②業務の効率化を進めるとともに、不祥事防止に取り組む。防災意識の向上を目指し、地域と連携した取組を検討・推進する。</p>	<p>①本校の生徒の実態に合わせたテーマで職員研修を行う。</p> <p>②Teams 活用の推進、特に掲示板とChat 機能を活かして情報の周知・共有の効率化を図る。</p> <p>②ゼロプログラムを実践し、定期的に時期に合わせた内容の事故防止研修を行う。</p> <p>②防災の体制について地域と情報を共有する。</p>	<p>①研修の振り返り等により、個々の職員が人権に配慮した教育活動の在り方を再確認できたか検証する。</p> <p>②日々の業務において情報の周知・共有が適切に行われたか。</p> <p>②適切な時期に不祥事防止研修を実施できたか。</p> <p>②学校の防災体制について学校運営協議会で検討協議できたか。</p>					